北海道医師会館９階理事会室

第23回常任理事会

日　時　令和８年２月10日（火）18：00～19：35
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・山科・伊藤・荒木・髙橋・寺本・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事
（Web参加者）橋本・水谷・青木・長谷部・菅田各常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか14名）

協議事項

第１号　令和７年度会費減免の追加申請に関する件
（目黒常任理事）

道医会費減免の追加申請者として、医学部卒後５年減免10名、減免額７万２千円を承認し、次回理事会に諮ることと決定。

第２号　社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦について（伊藤常任理事）

産婦人科１名の交代につき、北海道産婦人科医会から推薦のあった医師を社会保険診療報酬支払基金北海道支部に推薦することと決定。

第３号　令和８年度事業計画（前文）に関する件
（松家会長）

令和８年度の事業計画（案）を承認し、次回理事会に諮ることと決定。

第４号　第171回臨時代議員会［３月15日（日）・Web併用］の開催に関する件（目黒常任理事）

午前10時から当会館においてWeb併用で開催することとその提出議案について承認し、次回理事会に諮ることと決定。

第５号　第７回理事会［２月14日（土）・Web併用］の議案に関する件（目黒常任理事）

提出議題を決定。

第６号　役員賠償責任保険の更新に関する件
（目黒常任理事）

役員賠償責任保険の更新を承認し、次回理事会に諮ることと決定。

第７号　日本医師会生涯教育講座の認定に関する件
（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座９件を承認することと決定。

第８号　その他

⑴　令和８年度行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会［９月３日（水）・１月29日（木）・Web併用］について（寺本常任理事）

医療ならびに福祉関係に従事する方々との情報共有および意見交換の場として年２回開催している。１回目は北海道診療情報管理研究会から研究会の活動について、２回目は北海道看護協会・北海道助産師会・日本精神科看護協会北海道支部から「人材確保と育成」をテーマにそれぞれ話題提供があり、意見交換を行った。出席者は36団体中、１回目は32団体62名、２回目は33団体63名であった。

２．医師の就労環境づくりを支援するための臨床研修指定病院訪問事業［10月29日（水）・11月５日（水）・11月18日（火）・２月４日（水）］について
（寺本常任理事）

医師キャリアサポート相談窓口等の医師の就労環境づくりに必要な支援の普及啓発や医師会の組織強化を目的として病院訪問し、当会と各病院の取組みを共有した後、意見交換を行った。今年度は市立釧路総合病院、市立稚内病院、名寄市立総合病院、済生会小樽病院を訪問し、出席者は合計57名であった。

３．第３回都道府県医師会長会議［１月20日（火）・日医会館］について（松家会長）

「周産期医療提供体制を巡る課題と出産費用の在り方」をテーマに、Ｆグループが議論した後、同テーマに対する日医への質問の回答が行われた。当会から、正常分娩の保険化・分娩費無償化について、周産期医療提供体制の持続可能性と出産費用の在り方を一体として議論するよう、日医としてどのような主張・提案を行っていくのか、都道府県医師会や日本産婦人科医会など地域の現場からの声をどのような形で政策決定プロセスに反映していくのかについて見解を求めた。他県からも、分娩費の保険化あるいは無償化について、診療報酬点数が診療内容に見合うのであれば反対はしないという意見もある一方、出産は病気ではないとして自由診療とされていたこれまでの経緯など様々な理由から反対とする意見も多くあったが、日医として、現時点では制度設計の詳細を注視し、産婦人科医会や産科婦人科学会の意見を尊重していきたいとの回答があった。このほか、中央情勢報告として令和８年度診療報酬改定等について報告があった。

４．第11回ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」［１月29日（木）・日医会館］について（長谷部常任理事）

東京大学・樋口範雄名誉教授を座長とし、島根県

医師会会長／日医医事法関係検討委員会委員長・森本紀彦先生から「善きサマリア人法について－医事法関係検討委員会の取り組み」、新星総合法律事務所・児玉安司弁護士から「善きサマリア人法について－弁護士の立場から」と題して講演が行われた。その後、都道府県医師会からの参加者とオブザーバーが６つのグループに分かれ、善きサマリア人法に関する２つの事例について議論し、グループからの発表および全体討議を行った。

５．屋根瓦塾2025北海道［２月７日（土）・釧路市］について（髙橋常任理事）

初期臨床研修医の育成､質的向上を図るとともに、道内の臨床研修医、指導医等のネットワークを構築し、医師の就業と定着を促進することを目的に開催し、釧路管内の臨床研修病院（釧路孝仁会記念病院・釧路赤十字病院・釧路労災病院・市立釧路総合病院）から輩出の講師が研修医に講義を行った。受講者は初期研修医11名であった。

６．母子保健講習会［２月８日（日）・日医会館］について（末岡常任理事）

「プレコンセプションケアを考える」をテーマに開催され、シンポジウムでは、国立成育医療研究センター女性総合診療センター女性内科・荒田尚子診療部長から「プレコンセプションケア」、浜松医科大学医学部特命研究教授／藤枝市立総合病院・伊東宏晃先生から「わが国における妊婦の栄養管理の歴史」、順天堂大学大学院スポーツ医学・スポートロジー／代謝内分泌内科学・田村好史先生から「女性の低体重／低栄養症候群（FUS）とは何か？」、日本女子体育大学体育学部スポーツ科学科・横嶋剛教授から「学校における性教育の考え方・進め方」、こども家庭庁成育局母子保健課・田中彰子課長から「こども家庭庁におけるプレコンセプションケアに関する取組」について、それぞれ講演が行われた。その後､シンポジストと参加者間で質疑応答を行い、参加者は127名であった。

７．外部各委員会報告

⑴　第２回北海道薬剤師確保対策検討会［２月２日（月）・Web併用］について（佐古副会長）

前回検討会の開催結果について報告後、今後の薬剤師確保対策として、復職支援事業や就業斡旋事業の充実・周知、薬剤師バンクによる実効性のあるマッチング体制の構築、薬学生と薬剤師の交流機会の創出､地域実務実習への支援、薬剤師の資質向上に向けた研修の充実などについて説明があり、併せて本検討会を総医協地域医療専門委員会の小委員会として位置づける案について協議を行い了承された。

⑵　北海道精神保健福祉審議会［２月３日（火）］について（荒木常任理事）

委員構成の見直しを行い、次期改選から選定要件を変更することを了承した。その後、自殺対策基本法の一部改正および大規模地震時医療活動訓練について報告があり、意見交換を行った。

⑶　第２回がん教育等外部講師連携支援事業連絡協議会［２月４日（水）・Web併用］について（末岡常任理事）

がん教育の推進に係る今年度の具体的な取組について報告があった後、外部講師と連携を図ったがん教育に関する現状と課題を踏まえて次年度の取組について検討した。

⑷　第５回北海道病院事業推進委員会改革推進プラン検討部会［２月５日（木）・Web併用］について（佐古副会長）

北海道病院事業改革推進プラン(案)における道民意見提出手続(パブリックコメント)の結果、素案からの主な変更点、収支計画や数値目標について検討を行った。

道総医協関連事項（藤原副会長）

１．地域医療専門委員会第２回周産期･小児医療検討委員会［２月４日（水）・Web会議］について（末岡常任理事）

札幌圏における地域周産期母子医療センターの新規認定申請、道北圏における総合および地域周産期母子医療センターの状況ならびに小児救急電話相談事業の委託化に関する要望等について説明があり、意見交換が行われた。

２．地域医療専門委員会第２回在宅医療小委員会［２月５日（木）・Web併用］について（伊藤常任理事）

北海道在宅医療推進支援センター事業の取組状況、在宅医療に必要な連携を担う拠点の整備・指定状況ならびに北海道における在宅医療の現状と提供体制の整備状況等について説明後、在宅医療圏ごとの現状・課題分析や連携体制の構築、在宅医療提供体制の推進状況等を踏まえた今後の在宅医療提供体制のあり方について協議を行った。

第７回理事会

日　時　令和８年２月14日（土）16：00～18：10
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・鈴木両副会長、目黒・橋本・水谷・伊藤・青木・荒木・長谷部・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、今・坂本・稲葉各理事､梶・松岡両監事、大原議長、滝山副議長、志田・澤井両日医委員、笹本参与
（Web参加者）山科・菅田・髙橋各常任理事、小西（宏)・大本・沖・小西（勝)・中條・吉田・柴田・西條各理事、三戸日医委員、阿久津監事、深澤参与）
（事務局：三瓶事務局長ほか14名）

1．開　　会

2．会長挨拶

3．報告事項

⑴　日医理事会報告（松家会長）

12月の理事会は、地域医療に従事する若手医師顕彰事業の件等の協議後、全国知事会と日本医師会との意見交換会、中医協の件等の報告があった。１月の理事会では、医療機関勤務環境評価センターにおける医療機関の評価に関する審議の件等の協議後、第７回医道審議会医道分科会診療科名標榜部会、中医協、日本専門医機構第20回理事会の件等の報告があった。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

⑵　日医各委員会報告

１）医師会共同利用施設検討委員会［10月24日（金）・Web併用］について（小西（宏）理事）

岡山市医師会・平田洋会長より、「メディカルセンターにおける医療DXの取り組み－進行中の医療DX、医師会事業を維持発展させるために－」と題した講演が行われた後、慶應義塾大学医学部特任教授／慶應義塾病理診断クリニック所長・佐々木毅先生より、「慶應義塾病理診断クリニック（KDDiP）による保険医療機関間連携に基づく病理診断支援のご提案」と題し、事業の紹介がなされた。その後、会長諮問に対し、予め各委員が執筆した原稿を取りまとめた答申素案に基づき、それぞれ説明があり、協議が行われた。

２）未来医師会ビジョン委員会［10月25日（土）～26日（日）・札幌市、12月13日（土）・Web、１月31日（土）～２月１日（日）・宮崎県］について（志田委員、澤井委員）

10月の委員会は、札幌市内で２日間に渡り合宿形式で開催し、釜萢参議院議員から「高齢社会における医療保険制度の持続可能性」と題した講演があった。12月の委員会では会長諮問に対する答申骨子案について協議し、１月の委員会は、宮崎県で２日間に渡り合宿形式で開催され、答申案について意見交換を行った。

３）広報委員会［10月16日（木）、12月18日（木）］について（山科常任理事）

10月の委員会では「素敵な広報」共有事業の選考を行い、12月の委員会では、NHK大河ドラマ化を目指した北里柴三郎の関連イベントの企画等について協議を行った。また、日医で作成したショート動画「にちいくんと考えよう！」シリーズの紹介があった。

４）地域医療対策委員会［11月19日（水）、１月21日（水）・Web併用］について（青木常任理事）

11月の委員会では、地方都市型および過疎地域型ワーキンググループが取りまとめた報告書案の概要についてそれぞれ説明があった後、意見交換を行った。１月の委員会では、会長諮問への答申（たたき台）の内容について確認後、日医・坂本常任理事から令和７年度厚生労働省補正予算案「医療・介護等支援パッケージ」の概要や地域医療構想及び医療計画等に関する検討会の協議内容などについて説明があり、意見交換を行った。

５）医療IT委員会［12月17日（水）］について（橋本常任理事）

役員近況報告として、健康・医療・介護情報利活用検討会医療等情報利活用ワーキンググループにて議論されている電子カルテ情報共有サービスおよび電子カルテの普及に関する報告があった後、答申に関する協議を行った。

６）男女共同参画委員会［12月19日（金）・Web併用］について（寺本常任理事）

男性医師の意識調査と女性医師の勤務環境の現況に関する調査の比較分析について報告があり、自由記載では、男性医師から、制度の整備は進んでいるものの、運用上の矛盾や当直、人手不足による業務負担の増加などの課題が多く挙げられた。一方で、女性医師からは社会全体の意識改革や職場における理解・支援の必要性が示され、男女がともに家庭と仕事の両立ができる環境整備の促進が期待される等の意見が寄せられた。また、会長諮問に対する答申の骨子と執筆分担について協議したほか、新専門医制度や働き方改革がキャリア形成にどのように寄与するか等、日医会長宛てに分析を依頼する要望書を提出することとした。

７）全国医師マッチング支援委員会［12月24日（水）、２月４日（水）・Web併用］について（長谷部常任理事）

11月に名称変更した日本医師会ドクターバンクの登録等の実績について、求職者・求人施設ともに登録数が増加しているとの報告があった。また、各都道府県ドクターバンクとの業務提携を進めており、北海道においては北海道地域医療振興財団との協力体制が進展しているとの説明があった。ドクターサポートセンターの相談窓口については、当会のキャリアサポート相談窓口の仕組みを参考に、医師による相談体制とすることについて提案があった。なお、委員会委員を相談員として選任し、４月から相談受付を開始する方向で進めることとなった。

8）有床診療所委員会［12月25日（木）・Web併用］について（鈴木副会長）

日医・松岡常任理事より、地域医療構想及び医療計画等に関する検討会について報告後、会長諮問に対し、予め各委員が執筆した原稿を取りまとめた答申素案に基づき、意見交換を行った。

9）診療所における新興感染症対策研修検討委員会（プロジェクト）［１月７日（水）］について（髙橋常任理事）

厚生労働省より、災害医療・新興感染症医療に関するワーキンググループの報告があった後、各都道府県での研修の実施状況について、当会からは北海道・札幌医科大学・当会の三者共催により実施中であることを報告した。最後に、昨年10月13日に開催した「診療所を対象とした新興感染症対策リーダー研修」の事後アンケートの結果が共有され、会長諮問に対する答申について協議した。

10）予防接種・感染症危機管理対策委員会［１月14日（水）・Web併用］について（三戸委員）

厚生労働省から、最近の感染症対策行政ならびに予防接種行政の状況に関して、令和８年度より、RSウイルスワクチンを定期接種の対象とすること、HPVワクチンの２価および４価ワクチンを定期接種で用いるワクチンから除くことなどについて、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会で了承されたとの説明があった。

11）勤務医委員会［１月23日（金）・Web併用］について（長谷部常任理事）

令和８年度の関係会議の開催について協議し、全国医師会勤務医部会連絡協議会は11月７日に大分県で、都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会は５月28日に日医会館（Web併用）で、それぞれ開催することとなった。また、会長諮問に対する答申について、テーマごとに分担執筆した原稿の取りまとめを行った。

12）健康食品安全対策委員会［１月29日（木）・Web併用］について（滝山副議長）

健康食品に関する各種啓発資料のテーマや対象、活用方法等について意見交換を行った後、会長諮問に対する報告書の取りまとめに係る執筆の分担について協議した。

13）産業保健委員会［２月５日（木）・Web併用］について（村上常任理事）

会長諮問に関連して、厚生労働省による中央情勢報告の後、『嘱託産業医の心得と契約の手引き』の改訂案および答申の骨子案について、意見交換を行った。

14）生涯教育推進委員会［２月12日（木）・Web併用］について（髙橋常任理事）

日医インターネット生涯教育講座ならびに都道府県医師会主催指導医のための教育ワークショップの報告があった後、会長諮問に対する答申骨子案について意見交換を行った。

15）学校保健委員会［２月12日（木）］について（荒木常任理事）

会長諮問に対する答申取りまとめのため設置している学校健診WGとメンタルヘルスWGの検討内容についてそれぞれ報告があり、意見交換を行った後、答申および令和８年度学校保健講習会について検討した。

16）医療政策会議［２月13日（金）］について（松家会長）

「令和８年度診療報酬改定率」をテーマに意見交換を行った。十分な改定率とは言えないが、近年の改定率と比べると高い改定率となったことや今後の診療報酬改定への対応に関する意見が多く出された。

４．承認事項

⑴　役員賠償責任保険の更新について（目黒常任理事）

役員賠償責任保険の更新を承認決定。

５．協議事項

第１号　日本医師会選挙管理委員会委員・予備選挙管理委員の選出に関する件（目黒常任理事）

選挙管理委員会委員に山科常任理事、予備選挙管理委員に菅田常任理事を推薦することと決定。

第２号　令和７年度会費減免の追加申請に関する件（目黒常任理事）

道医会費減免の追加申請者は、医学部卒後５年減免10名で減免額72,000円を承認し、第171回臨時代議員会に諮ることと決定。

第３号　令和８年度事業計画に関する件（藤原副会長）

令和８年度事業計画（案）を承認し、第171回臨時代議員会に報告することと決定。

第４号　令和８年度予算に関する件（目黒常任理事）

令和８年度予算（案）を承認し、第171回臨時代議員会に報告することと決定。

第５号　第171回臨時代議員会［３月15日（日）・Web併用］の開催に関する件（目黒常任理事）

午前10時から当会館においてWeb併用で開催することとその提出議題を決定。

第６号　理事提案事項

特になし。

第７号　その他

⑴　令和８年度行事予定に関する件（事務局）

６．道総医協関連事項（藤原副会長）

令和７年度第６回理事会（令和７年12月13日）報告以降に開催された会議について報告した。

７．閉　　会

第24回常任理事会

日　時　令和８年２月24日（火）18：30～19：51
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・髙橋・白崎・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事、長瀬顧問
（Web参加者）橋本・菅田・寺本各常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか14名）

協議事項

第１号　母体保護法指定医師の指定に関する件
（目黒常任理事）

持ち回りの審査委員会において指定可とされた再審査申請者２名を指定医師とすることと決定。

第２号　母体保護法指定医師研修機関の指定に関する件（目黒常任理事）

札幌徳洲会病院（札幌市）を指定することと決定。

第３号　日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（村上常任理事）

認定要件を満たした新規申請者21名と更新申請者54名を承認し、日医へ申請することと決定。

第４号　日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（末岡常任理事）

認定要件を満たした新規申請者５名と更新申請者２名を承認し、日医へ申請することと決定。

第５号　日本医師会生涯教育講座の認定に関する件
（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座８件を承認することと決定。

第６号　その他

⑴　３月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．感染症対策研修［令和７年度］について
（髙橋常任理事）

変異株の出現や将来の新たな感染症危機にも柔軟に対応できるよう、感染症対応の基本である「標準予防策（スタンダード・プリコーション）」に焦点を当て、日々のケアから有事の対応まで一貫した高い感染管理体制の構築を目的に、北海道ならびに札幌医科大学との三者共催により、道内各地で９回開催した。各回とも、感染管理認定看護師の協力を得て個人防護具の脱着に関する実習をした後、感染経路に関する講義、シナリオ別感染対策検討（グループディスカッション）を行った。参加者は合計1,129名であった。

２．北海道小児救急医療地域研修会［令和７年度］について（白崎常任理事）

今年度は道内８会場で開催した。北海道小児科医会の協力のもと、各地域の小児科医２名に講演を依頼し、札幌会場のみ基本的な一次救命処置（BLS）などの救急蘇生実技を交えてWeb併用で行った。受講者は速報値でのべ453名、うち154名が臨床研修医を含む医師であった。受講者には北海道知事、北海道小児科医会長、当会会長の三者連名による修了証を交付した。

３．医師事務作業補助者スキルアップ講座［令和７年度］について（寺本常任理事）

医師の働き方改革に関して、タスクシフトの担い手である医師事務作業補助者のスキルアップを目的に、Web併用形式により全４回開催した。各回、医師による耳鼻咽喉科、総合診療科、麻酔科、呼吸器内科の各疾患の概要や治療方法の講演の後、医療関係職能団体等から専門職種の業務や多職種連携等について説明があった。引き続き、各種診断書の書き方やパソコン技術等、直接実務に関わる内容で演習が行われた。受講者は延べ260名（会場22名、Web238名）であった。

４．北海道救急医療フォーラム［１月31日（土）・室蘭市］について（白崎常任理事）

本フォーラムは、地域住民への救急医療機関の適正利用等に関する啓発を目的としており、今回は室蘭市において、「西胆振地域の救急医療を考える」をメインテーマに開催した（主催：室蘭市医師会、当会）。製鉄記念室蘭病院・前田征洋病院長から「西胆振地域における救急医療の現状と課題」と題して基調講演を行った。トピックスでは、小児救急・在宅医療・消防・行政の立場からメインテーマに沿った講演があり、全体討論、フロアとの意見交換を行った。参加者は127名であった。

５．病院管理研修会［１月31日（土）］について
（青木常任理事）

北海道病院協会との共催により開催。社会医療法人水光会宗像水光会総合病院理事長で、全日本病院協会常任理事、医療保険・診療報酬委員会委員長の津留英智先生から「令和８年度診療報酬改定」をテーマに講演いただいた。参加者は医師をはじめ医療事務等319名（会場29名、Web290名）であった。

６．北海道病院団体懇談会［１月31日（土）］について（青木常任理事）

北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課・川上禎之課長より「新たな地域医療構想の基本的な考え方」と題して話題提供いただいた後、各団体と意見交換を行った。各団体からの参加は15団体19名であった。

７．北海道医師会JMAT研修会［２月15日（日）］について（白崎常任理事）

日医JMAT研修ｅラーニングシステム「JMAT-e」などの事前学習を取り入れて開催した。小職よりJMATの概要について報告後、災害発生直後の病院

における対応、被災地での健康管理や診療、JMATの派遣体制に関する机上演習のほか、新たに企画した避難所アセスメントと被災地の医療機関支援、救護所運営に関する総合演習など、実働訓練に近い実習を中心に行った。受講者は48名であった。

8．北海道産業保健活動推進協議会［２月19日（木）］について（村上常任理事）

小職より今年度の産業保健各種研修会開催状況、日医産業保健委員会の活動状況について報告後、北海道労働局より化学物質管理強調月間や労働安全衛生法及び作業環境測定法改正の主なポイント、治療と仕事の両立支援カードについて説明があった。続いて、北海道産業保健総合支援センターより今年度の活動状況について報告があり、意見交換を行った。

9．母子保健対策推進委員会［２月22日（日）］について（末岡常任理事）

寺本常任理事および小職より、日医母子保健検討委員会ならびに母子保健講習会のほか、母子保健に関する要望等について報告を行った後、「５歳児健診」をテーマに、医療法人社団うめつ小児科・岡村暁子院長および北海道保健福祉部子ども政策局からそれぞれ話題提供があり、テーマに基づいた地域の状況や取り組み等について意見交換を行った。

10. 第３回勤務医部会運営委員会・第４回若手医師専門委員会［２月23日（月・祝）］について（寺本常任理事）

令和７年度地域医療の現況調査報告書について、執筆を担当した各委員からの概要報告ならびに意見交換を行った後、タイトル案や今後のスケジュール等について協議を行った。当該報告書は３月末の発刊を予定している。

11. 若手開業医と若手勤務医との懇談会［２月23日（月・祝）］について（末岡常任理事）

医師会の組織強化に向けて、将来の医師会を担う若手医師同士の関係構築を目的として昨年度に引き続き開催した。出席者の自己紹介や若手医師専門委員会の活動紹介を行った後、懇親会の場で若手開業医と若手勤務医との交流を深めた。参加者は33名であった。

12. 外部各委員会報告

⑴ 北海道救急業務高度化推進協議会［１月30日（金）・Web併用］について（白崎常任理事）

北海道消防学校において指導救命士養成講習の開始や、心肺蘇生を望まない傷病者への対応に係るプロトコル（DNARプロトコル）の策定等の基本指針を共有した。また、指導救命士および指導的救急救命士の認定状況と活動状況を地域別に確認し、12誘導心電図の導入等状況調査結果とマイナ救急の開始状況について意見交換を行った。

⑵ 第２回北海道医療勤務環境改善支援センター運営協議会［２月９日（月）・Web併用］について（長谷部常任理事）

北海道医療勤務環境改善支援センターの令和７年度活動実績について、働き方改革に向けた基礎調査結果などの報告後、令和８年度の運営方針（案）について協議を行ったのち、特定労務管理対象機関の令和８年度以降の指定スケジュールについて情報提供があった。

⑶ 第２回北海道学校保健審議会［２月12日（木）］について（松家会長）

北海道の児童生徒の健康課題および学校給食の栄養管理等について、小学生の体力合計点がコロナ禍による下降を経て男女ともに上昇傾向にあること、小中学校における残食率は前回調査（平成27年度）と比べて増加傾向にあることの報告があった。

⑷ 第１回北海道こども施策審議会こども・子育て支援部会［２月12日（木）・Web併用］について（寺本常任理事）

北海道こども計画（第三期都道府県子ども・子育て支援事業支援計画）、プレコンセプションケアの推進、保育所および認定こども園の設置認可等の説明があり、それぞれ内容について審議を行った。

⑸ 第20回北海道がん診療連携協議会［２月13日（金）・Web併用］について（青木常任理事）

がん診療連携拠点病院やがん診療の中核を担う医療機関の代表者ならびに担当責任者が出席し、「がん診療提供体制の均てん化・集約化」、「北海道がん診療連携協議会版ロジックモデル」等について協議を行った。当日の出席者は86名（会場57名、Web29名）であった。

⑹ 第２回地域応援看護師確保対策検討会議［２月16日（月）］について（寺本常任理事）

看護職員の全道的な地域偏在に対応するため、不足している地域の医療機関に応援看護師を派遣する事業について、令和７年度事業実施報告ならびに令和８年度の事業計画（案）の説明があった。令和７年度（令和８年１月15日時点）の実績は、登録ナース29名（うち新規登録者16名）、就業ナース15名（うち応援後、当該施設就職者２名）であった。

⑺ 第２回離職看護職員相談事業協議会［２月16日（月）］について（寺本常任理事）

令和７年度事業実施報告ならびに令和８年度の事業計画（案）について説明があった。離職中の看護職員に対してナースセンター側からアプローチし、求職者となるよう働きかける届出制度を活用した再就業支援の今年度の実績は、令和７年12月末時点で登録者支援数718人、うち再就業は84人であった。また、届出から連携したｅナースセンター登録者は51.4％（全国平均37％）との報告があった。

道総医協関連事項（藤原副会長）

1．第５回地域医療専門委員会［２月13日（金）・Web併用］について（佐古副会長）

新たな地域医療構想の進捗状況や北海道における令和６年度病床機能報告の概要について報告があった後、本委員会に薬剤師確保対策小委員会、周産期・小児医療検討委員会に災害時小児周産期リエゾン検討ワーキンググループを新たに設置することや医療介護総合確保促進法に基づく令和８年度北海道計画等への登載予定事業（案）について協議した。

電子メールによる会員への情報提供について
－メールアドレスの登録－

◇情報広報部◇

本会では、インターネットを利用し、電子メールにより緊急性の高い情報を、会員の皆様に送信提供しております。対象は当会の電子メールアドレス利用者全員と他プロバイダの電子メールアドレスをお持ちになっていて、本会にアドレスを登録している会員です。

他プロバイダの電子メールアドレスの登録につきましては、随時受け付けておりますので、是非ご登録いただきたくご案内いたします。

●電子メールアドレスの登録方法

電子メールで、ご氏名、登録メールアドレスを明記のうえ、下記宛お送りください。

・申込先メールアドレス：**add@m.doui.jp**

北海道医師会ホームページ　フォトギャラリー
作 品 募 集

◇情報広報部◇

北海道医師会では、ホームページにフォトギャラリーを開設しております。今後、会員の皆様の作品掲載を充実していきたいと考えております。どうぞふるってご応募ください。

募　集　要　項

【応募規定】

●作品のテーマは自由です。

●本人が撮影した作品に限ります。

〇フィルム：作品は原則としてポジカラー（スライド）としますが、プリントはキャビネサイズ以上であれば可です。

〇デジタル：JPEG、TIFF等の画像データ。ただし、撮影時のオリジナル画像と大きく異なるような修正・合成等の画像処理を施したものは不可とします。

〇コメント：作品タイトルと200字程度にまとめた説明等を添付してください。

●応募者それぞれに専用の掲載ページを作成します。同時に掲載できる作品は20点までとします。作品の入れ替えは、随時可能です。

●肖像権やプライバシーの侵害には十分ご注意ください。当会では責任を負いかねます。

●応募作品が著しく多数の場合、広報委員会において、フォトギャラリーへの掲示作品を選定いたします。

●作品の応募は随時受け付けております。

【応募・問い合わせ先】

〒060-8627
札幌市中央区大通西６丁目
北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661
FAX 011-241-3090
E-mail　photo@m. doui. jp